

令和6年度 第1回学校振り返りアンケート集計結果

朝夕涼しさを感じるところとなりました。平素は、本校教育推進のためにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本校の教育活動をより充実させるため、今年度の学校生活などについて、児童・保護者を対象にしたアンケートを実施しました。お忙しい中ご協力頂き、ありがとうございました。結果をまとめましたので、お知らせいたします。今子どもたちの学校生活をよりよいものにするため、今後の活動に生かしていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

【児童】

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない
授業中、学習がよくわかること	50.4%	42.8%	5.2%	0.8%	0.8%
最後まであきらめず、学習に取り組むこと	51.2%	39.5%	7.7%	1.2%	0.4%
授業中、しっかり相手に話をすること	47.6%	34.3%	13.7%	2.4%	2.0%
授業中、しっかり相手の話を聞くこと	52.0%	40.4%	5.2%	2.0%	0.4%
学習の中で、PC やタブレットを使うこと	63.3%	29.5%	4.4%	1.6%	1.2%
毎日決まった時間(長さ)に家庭学習をすること	39.5%	32.3%	17.3%	7.3%	3.6%
家で予習、復習、宿題をすること	52.4%	34.7%	8.9%	3.6%	0.4%
時間を見つけ、進んで本を読むこと	47.6%	25.0%	16.1%	9.7%	1.6%
次の日の準備を忘れずにすること	58.5%	33.9%	5.2%	1.2%	1.2%
進んで「おはよう」などのあいさつや「ありがとう」が言えること	60.1%	26.2%	9.7%	3.2%	0.8%
進んでそうじをすること	58.5%	29.8%	9.3%	2.4%	0.0%
トイレのスリッパやぬいだくつをそろえること	58.1%	32.6%	7.3%	1.6%	0.4%
早寝・早起きなど、規則正しい生活をすること	40.7%	39.1%	10.9%	8.1%	1.2%
学校や学級のきまりや約束が守れること	46.4%	43.5%	7.7%	1.2%	1.2%
学校や学級での生活が楽しいこと	64.2%	26.2%	5.2%	2.8%	1.6%
友だちとかよくすること	75.0%	19.8%	2.8%	2.0%	0.4%
PTA 行事や地域の行事に進んで参加すること	31.0%	30.6%	13.0%	10.1%	15.3%
学校であったことを家で話すこと	52.0%	31.0%	7.3%	7.3%	2.4%

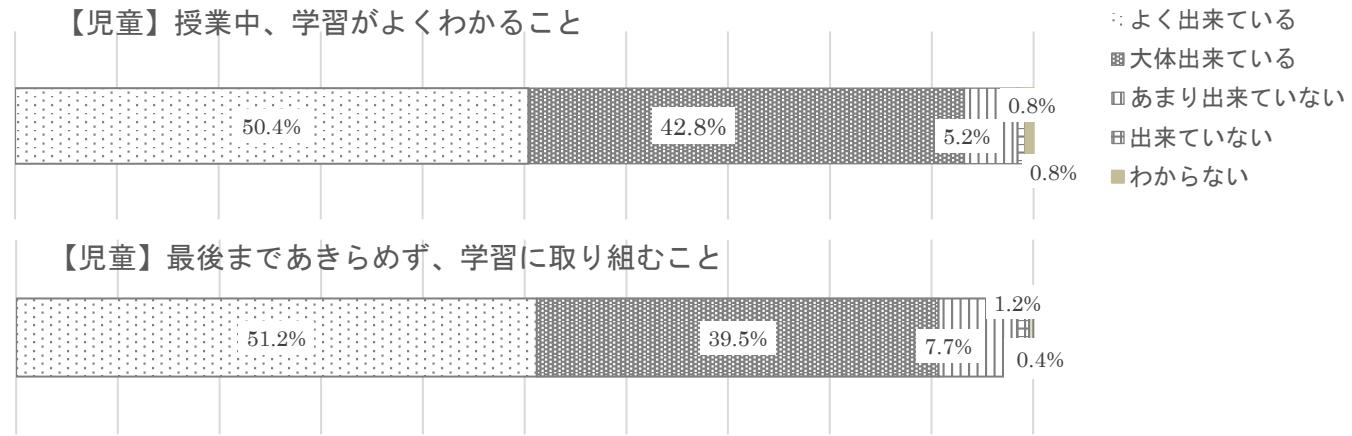
【保護者】

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない
子どもにとって授業がよくわかること	19.4%	60.4%	13.8%	1.8%	4.6%
子どもが何事にも粘り強く取り組めること	17.5%	62.6%	16.6%	0.5%	2.8%
子どもに基礎学力が身に付いていること	18.4%	56.3%	18.4%	2.3%	4.6%
子どもにとって、学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を使うこと	22.6%	45.6%	11.5%	3.7%	16.6%
子どもに家庭学習(学年×10分)の習慣が身に付いていること	18.0%	37.8%	34.5%	8.8%	0.9%
子どもに読書をする習慣が身に付いていること	13.8%	25.3%	39.2%	19.4%	2.3%
子どもが「おはよう」などのあいさつや「ありがとう」と進んで言えること	26.3%	54.8%	16.1%	2.3%	0.5%
子どもが身の回りの整理・整頓や掃除を進んですること	12.0%	41.0%	36.8%	9.7%	0.5%
子どもが履き物を自分でそろえること	11.5%	38.2%	40.1%	9.7%	0.5%
子どもが学校に楽しく通うこと	46.1%	48.3%	2.8%	1.4%	1.4%
子どもが早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣を身に付けていること	37.3%	47.0%	13.4%	2.3%	0.0%
子どもが温かい仲間意識をもち、思いやりや親切な心を育むこと	35.5%	57.2%	5.5%	0.0%	1.8%
学校が子ども一人一人を大切にした取組を行っていること	26.6%	55.8%	6.0%	0.5%	11.1%
学校が、教育方針や教育活動の状況をわかりやすく伝えること	16.1%	61.8%	12.9%	0.9%	8.3%
学校が家庭・地域と連携し、「地域継ぐみ」の教育を推進すること	17.5%	55.8%	12.9%	1.4%	12.4%
PTA活動・地域活動が積極的に行われること	18.0%	60.8%	10.1%	0%	11.1%
子どもが地域行事やPTA行事に参加すること	9.7%	50.6%	19.4%	12.0%	8.3%
保護者が学校行事(参観・懇談など)に参加すること	30.0%	60.3%	5.1%	3.2%	1.4%
子どもが、学校であったことを家で話すこと	28.1%	54.9%	13.8%	3.2%	0.0%

今年度の学校教育目標「夢に向かって 自ら考え 行動し 最後までやり遂げる子を育てる」、育成を目指す資質・能力「思いを言葉にする力」「自己指導能力」を基に、確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成の3つのアクションプランを視点にして、考察を行いました。

＜考 察＞

《確かな学力の育成》



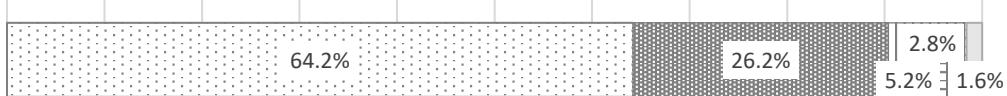
『授業中、学習がわかること』について、児童は「よく出来ている」との回答が約50%と半数、さらに「よく出来ている」「だいたいで出来ている」を合わせて約93%の児童が肯定的な回答をしています。昨年度後期の高学年児童結果と比較すると、「よく出来ている」という回答は12.1ポイント、「よく出来ている」「だいたいで出来ている」を合わせた回答は4.1ポイント上がっています。『最後まであきらめず、学習に取り組むこと』についても、「よく出来ている」に約50%、「大体出来ている」に約40%の児童が回答しています。この項目についても、昨年度後期の高学年児童結果と比べ、約10ポイント肯定的な回答が増えています。また、保護者の回答では、『子どもにとって授業がよくわかること』『子どもが何事にも粘り強く取り組むこと』という2項目について「よく出来ている」「だいたいで出来ている」を合わせた回答は約80%となっています。

家庭学習の習慣についての項目でも、児童は約87%、保護者は約56%が「よく出来ている」「できている」と回答しています。これらの結果から、学校でも家庭でも学習に対する意欲は、少しずつですが向上していることが推察できます。児童の学習への意欲を今後とも向上できるような学習活動や家庭学習を取り入れていきたいと考えています。様々な学習活動の中で、わかる喜び(学び)を感じ、夢に向かって挑戦しながら「自己実現」が図れるような教育環境づくりを目指しています。授業のめあて・見通しの確認やまとめと振り返りをすることで、学習したことの価値や自分にとっての意義を確認できるように取り組んでいきます。今後とも保護者の皆様に学習内容や時期など、児童の学習に取り組む様子や変化などをお知らせし、家庭との連携を図っていきたいです。梅津北小での学習活動のご理解と共に、児童が主体的に学習を進められるよう、ご理解・ご協力をお願いいたします。

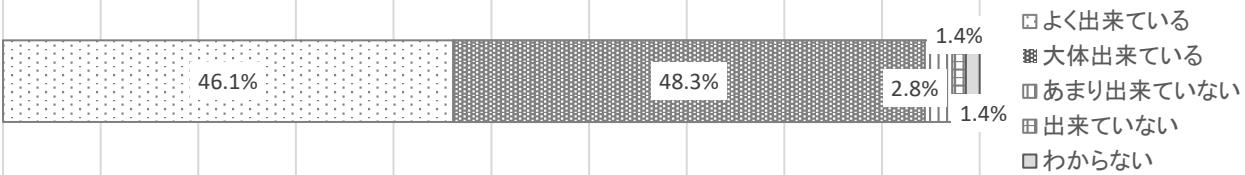
また、様々な場面においてICT機器等を活用し、学習意欲や学びの可能性も広がるように学習活動を進めていきたいと考えています。今後も追究意欲を駆り立てる課題設定を行い、児童の「知りたい」「できるようになりたい」という思いが高められるような授業づくりに取り組んでいきます。ますます多様化するネット環境の中でも正しい判断ができる力が必要となります。学校でも、GIGAスクール構想を推進する中、様々な場面においてICT機器等を活用するとともに、情報モラルについての学習も計画的に学年に応じて行なっています。しかし、ICT機器やネットワーク社会の発展は著しく、児童を取り巻く環境の変化は絶え間なく変化しています。そこで、今後も保護者の皆様と連携をとり、情報モラル教育を進められればと考えています。

《豊かな心の育成・健やかな体の育成》

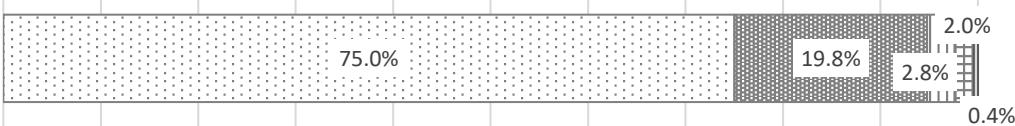
【児童】学校や学級での生活が楽しいこと



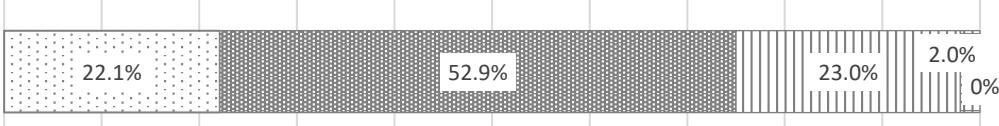
【保護者】子どもが楽しく学校に通うこと



【児童】友だちとかよくすること



【保護者】子どもが温かい仲間意識をもち、思いやりや親切な心を育むこと

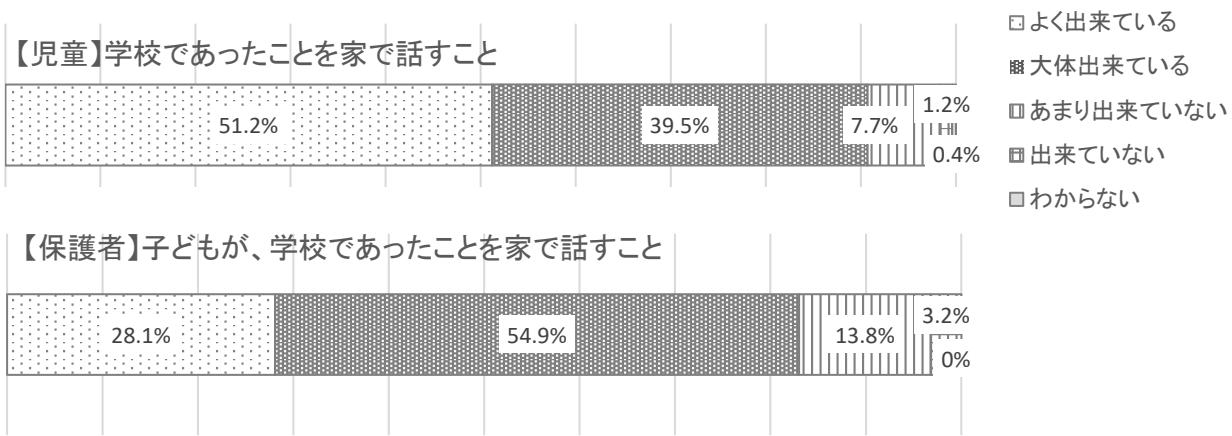


児童に対する質問『学校や学校での生活が楽しいこと』・保護者に対する質問『子どもが楽しく学校に通うこと』について、昨年度後期の結果と比較すると、「よく出来ている」「だいたい出来ている」を合わせた回答が児童・保護者の回答とも5ポイント以上上がっています。

また、『友だちとかよくすること』については、児童の約95%が「よく出来ている」「だいたい出来ている」という肯定的な回答をしています。『子どもが温かい仲間意識をもち、思いやりや親切な心を育むこと』については、約93%の保護者が肯定的な回答をしています。昨年度前・後期の結果と比較しても、児童・保護者共に肯定的な回答が少し上がっており、「わからない」という回答が減少しています。これらのことから、「自己を見つめることができ、自己有用感や自己肯定感が少しづつ向上している」と感じられる結果となりました。

たてわり活動・委員会活動など児童会が中心となる活動・学級活動等、児童が主体的に知恵を出し合って集団生活や集団活動の楽しさを実感できる活動の充実を図っています。それらの活動の中で、児童は相手の気持ちを考え、行動している姿が見られます。集団の一員としての役割を担って、責任を果たす中で、自分への自信を培い、自己実現につなげられるようにと考えています。また、行事等の体験活動を充実させることで、人のために役立つことや多様な人々と共生することの大切さを実感できるように取り組んでいきたいと思います。これからも、日々の学習を通して、児童が互いのよさに気付き認め合える関係を築き、相手の立場に立って考えて行動することや人とのつながりを大切にできるようになってほしいです。

«学校・家庭・地域の連携»



児童に対する項目『学校であったことを家で話すこと』・保護者に対する項目『子どもが、学校であったことを家で話すこと』について、昨年度後期の結果と比較すると、「よく出来ている」「だいたい出来ている」を合わせた回答が児童では約4ポイント、保護者も約1ポイント上がっています。また、児童・保護者共に『わからない』という回答が減少しています。家庭でも児童の話に耳を傾ける時間を設け、学校であったことを聴いていただき、ありがとうございます。

本年度から、『すぐーる』が導入され、保護者の方々からの欠席・遅刻の連絡等、学校から保護者の皆様へのお知らせ等の仕方が少しずつ変化する中、保護者の皆様のご理解・ご協力のもと、スムーズに情報を共有することができているように感じます。今後も、児童の健やかに成長するのを保護者・学校・地域で見守ることができるよう、ホームページ等の充実を図り、学校からの情報発信も充実させていきたいと思います。

【学校運営協議会理事会の皆様からご意見をいただきました。】

- ・保護者との連絡ツールとして「すぐーる」がどのように運用されているのかが興味深い。
- ・本年度は、4年生の自転車教室にたくさんの保護者の方がお手伝いにきてくださいましたので、互いに交流することができ、とてもよかったです。来年度も、保護者の方々と一緒に自転車教室をお手伝いしたい。
- ・最近、PTAの在り様が変わってきたと聞くが、地域の活動とともにとても大切な活動だと思う。活動内容などをより広く皆に知ってもらえる工夫をしていく必要がある。
- ・児童のまわりには、様々な情報・誘惑・危険がある中、児童の「命を守りきること」が何よりも大切である。
- ・地域で、梅津北小学校の子ども達を今後ともしっかりと見守っていきたい。
- ・地域が感じていることを子ども達等に伝えられる機会をもつことはとてもいいこと。今後、児童が北梅津地域のことを知り、地域を身近に感じてくれると嬉しい。



本校では、児童・保護者・地域の皆様の願いを受け止め、学校改善を図ることを目的に、これからも学校評価を計画的に実施していきます。その結果を分析・考察し、よりよい学校づくりに役立てて参ります。アンケートのご協力、誠にありがとうございました。